

質問書回答

2019年 7月 16日

「インドネシア国スラバヤ広域都市圏における廃棄物広域管理計画調査プロジェクト」
(案件番号:19a00242 公示日:2019年7月3日)について、質問の回答は以下のとおりです。

通番	当該頁項目	質問	回答
1	13頁 2. プロジェクトの概要 (5) 活動の概要【成果1に係る活動】	成果1に記載のある1-8 優先自治体間の覚書締結に向けた自治体向け研修に関わる調査は今回の業務で実施すると理解してよいでしょうか？ また、研修自体も今回の業務において実施するのでしょうか？ その場合、回数、人数、時期等想定されていたらご教示ください。	「1-8 優先自治体間の覚書締結に向けた自治体向け研修の検討と実施」と修正します。研修の実施(インドネシア国内)についての内容はプロポーザルでご提案いただき、係る費用については、MM も含め別見積もりへ計上ください。
2	13頁 2. プロジェクトの概要 (6) 対象地域	対象地域である2市5県に含まれる「グレシック県(Gresik Regency)」には「Bawean 島」というスラバヤ北部沿岸から海上約150km離れたところにある島も含まれますが、この地域も含まれるのでしょうか(2010年センサスによれば人口約7万人。)。	こちらは広域処理の対象に含めることはほぼ想定されませんので、含めない扱いとします。
3	18頁 6. 業務の内容 (6)実地調査 1)ごみ量・ごみ質調査	ごみ量・ごみ質調査は、2市5県全ての自治体において実施し、自治体毎に発生量原単位を出すという理解でよいでしょうか？	ご理解のとおりです。
4	18頁 6. 業務の内容 (7)最終処分場調査 2)既存最終処分場及び周辺の水質調査	全ての既存最終処分場において、採水から分析までの実査をするという理解で良いでしょうか？ その場合、 ・ 「周辺」の定義(敷地境界からXX m など)をご教示いただけますか？ 調査対象水は表流水という理解でよろしいでしょうか？	ご理解のとおりです。周辺の定義については、本業務において、適当と思われる内容を検討ください。また調査対象水は、表流水と考えます。

通番	当該頁項目	質問	回答
5	19 頁 6.業務の内容 (8)住民及び事業者に対する意識調査	本調査での全サンプル数は、400 サンプル / 自治体 × 7 自治体 = 2,800 サンプルという理解でよいでしょうか？	ご理解のとおりです。
6	21 頁 【第 4 業務実施上の条件】 6.現地再委託 (1)本都市圏を対象とした廃棄物管理に係る現況調査のための情報収集	貴構が想定されている再委託の業務をご教示いただくことは可能でしょうか？	再委託として想定されるのはごみ量・ごみ質調査、タイムアンドモーション調査、処分場の水質調査、住民意識調査などです。なお、6.業務の内容のうち(5)、(6)、(7)、(8)、(9)、において、業務実施後に追加調査の必要性を検討する場合に備えて、再委託費として、7,000 千円を定額計上願います。
7	共通 航空賃について	スラバヤは国際空港となりますが、別見積りで計上する航空賃の経路をご教示いただけますか？ (例、東京 スラバヤ、もしくは東京 ジャカルタ)	本業務は、東ジャワ州のスラバヤ市を拠点にして行なうことを想定していることから、別見積においては、東京 - スラバヤで計上願います。
8	3.相手国の便宜供与 (2)執務スペースの提供	執務スペースは相手国の供与としていますが、机・椅子・コピー機等の事務所備品は本見積りにコスト計上する必要があるかどうか、ご指示頂ければと思います。	相手国から執務スペースが提供される予定です。見積への計上は必要ありません。
9	5.実施方針および留意事項 (3)専門家の構成	長期専門家が事務要員及び技術要員を現地備上する予定、とのことですが、コンサルタントの活動にも現地備人は不可欠になります。長期専門家が備上する現地要員はコンサルタントの活動もフルサポート頂けるとの理解でしょうか。備上予定の現地備人の人数及び担当(予定)を教えてください。サポートが限定的或いは困難である場合は、コンサルタントの費用に計上して現地要員を備上する必要があると考えています。	長期専門家が事務要員、技術要員を各々1名備上する予定ですが、コンサルタントの活動についてもサポートする予定です。見積への計上は必要ありません。

通番	当該頁項目	質問	回答
10	6.業務の内容 (2) 合同調整委員会 (JCC) の設置及び定期開催	定期開催とありますが、本業務期間中に何回開催する想定でしょうか。また開催に係る費用は本見積りにコスト計上する必要がありますでしょうか。	JCC 開催の開催は、2 回を想定します。見積への計上は必要ありません。
11	6.業務の内容 (4) 事前準備 (国内作業) 及びワークプランの作成・説明・協議	3) インセプションレポートの説明・協議等、とありますが、正しくはインセプションレポートではなくワークプランとの理解で宜しいでしょうか。	「3) ワークプランの説明・協議等」と修正します。
12	6.業務の内容 (7) 最終処分場調査	「1) 既存最終処分場の地勢調査」、「2) 既存最終処分場及び周辺の水質調査」、「3) 既存最終処分場の運営管理状況 (残余年数の推計等を含む)」は、地形測量、水質分析等の実態調査が伴うとの理解でしょうか。あるいは、既存資料・データ等の分析による現状把握との位置づけでしょうか。	既存資料・データ等の分析による現状把握を行なうとともに、実態調査も行ないます。
13	6.業務の内容 (8) 住民及び事業者に対する意識調査	サンプルサイズは、本都市圏の各自治体において 400 とする、とありますが、2市5県の合計サンプルサイズは $400 \times 7 = 2,800$ との理解でしょうか。	通番5を参照ください。
14	企画競争説明書 15 頁 5.(3) 専門家の構成	「在外事業強化費を用いて、事務要員及び技術要員を現地備上する予定である。」について、コンサルタント側での現地備人 (アシスタント、通訳) の雇用は不要 (在外事業強化費による現地備人雇用にコンサルタントの要望が反映される) である、という理解でよろしいでしょうか。	通番9を参照ください。
15	企画競争説明書 18 頁 6.(7) 最終処分場調査	1) ~ 6) の調査の方法は、関係機関へのヒアリングを想定されていますでしょうか。それともコンサルタントによるデータの取得や算出を想定されていますでしょうか？	関係機関へのヒアリングを含む、実態調査を行ないません。通番12を参照ください。

以上